

第 13 回 東京都公金管理アドバイザー会議 議事要旨

日 時	令和 3 年 1 月 27 日（水） 15：00 ～ 16：50
方 法	WEB 会議
出 席 者	委 員）今井委員、大槻委員、川本委員、根本委員、幸村委員 計 5 名 事務局）佐藤局長、副島管理部長、安武公金管理課長、山村資金運用担当課長、赤岩課長代理、落合課長代理、有井主任、島寄主任 計 8 名
欠 席 者	なし
議 題	1. 中間決算を踏まえた評価について 2. 今後の公金管理について
要 旨	<p>(1) 会計管理局長挨拶</p> <p>(2) 第 13 回東京都公金管理アドバイザー会議の非公開の決定 事務局 本会議は、新型コロナウイルス感染症の流行を鑑みて対面の接触を回避する必要があるため、非公開にて実施することとし、また、議題の内容を踏まえ、情報の取り扱いには十分注意を払うことをお願いした。 委員 感染症の流行状況及び議題の内容を踏まえ、全員が了解。</p> <p>(3) 議題 1 「中間決算を踏まえた評価について」 事務局 預金先金融機関（邦銀・外国銀行）及び債券発行体の経営状況について、決算を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関（邦銀・外国銀行）及び債券発行体の評価等を報告した。 委員 預金先金融機関（邦銀・外国銀行）及び債券発行体の評価内容については、適正なものである。 委員 減益が続いている銀行については特に継続している要因の分析を詳細に行う必要。 委員 コロナ禍により収益環境の見通しが不透明な中での邦銀による有価証券運用について注視が必要。 事務局 適正な評価が継続して可能となるように今後も取組を進めていく。</p> <p>(4) 議題 2 「今後の公金管理について」 事務局 現状の公金の運用・保管状況等を踏まえた新たな運用・保管先の導入やリスク管理の強化について検討内容を報告した。 委員 公金のポートフォリオを多様化する視点から、新たな運用・保管先の検討は重要。 委員 運用・保管先を拡大するにあたっては、様々なリスクが存在することを十分認識したうえで、慎重に検討を進めるべき。 委員 現在の経済・金融情勢のもとでは、預金先の集中を速やかに解消することは現時点では強く求めることはしない。 委員 公金の安全な保管に必要なコストについて、法律面も含め制度等を確認することは</p>

有益ではないか。

委員 新たな運用・保管先の導入と並行して実施する予定のリスク管理の強化については
妥当なものである。

事務局 いただいたご意見を踏まえて改めて事務局として考え方を整理し、安全性の観点か
ら、短期的な預金代替の確保と中長期的な課題とを時間軸を分けて検討していく。

以上